

トピックス ～北本市の旬の話題をお届け～

①防災庁の設置に向けて要望書を提出します(くらし安全課)

埼玉県平野部のほぼ中央に所在する鴻巣市、桶川市、北本市の3市は、首都 50km 圏内 に位置し、同じ鉄道路線や幹線道路で結ばれ、都心への通勤・通学に便利な住宅都市として、共に発展してきました。また、行政運営の効率化を図るため埼玉県央広域事務組合を設立するなど、連携・協力して圏域の発展に努めています。このたび、国が設置を進めている防災庁を3市の圏域に設置することについて、国に 要望活動を実施いたします。

三宮 幸雄 北本市長・並木 正年 鴻巣市長・小野 克典 桶川市長

設置を要望する理由

- ① 強固で安定した地盤
- ② 地震に強い道路ネットワーク
- ③ 都心部への良好なアクセス
- ④ 航空輸送力の優越
- ⑤ 防災力をけん引する防災発信拠点



②デマンドバス増車による実証実験を開始

～地域住民の移動利便性向上を目指して～(くらし安全課)



本市で運行しているデマンドバスについて、試験的に1台増車し利便性の向上を図ります。利用者から「予約が取りづらい」「帰りの足として利用しづらい」といったご意見が寄せられており、デマンドバスの利便性向上に対応するため、実証実験を行い、結果を検証するとともに、高齢者等の交通弱者等の移動手段を確保してまいります。

予算 1,600万円(デマンドバス増車実証実験事業)

実証実験 令和8年4月1日～令和9年3月31(予定)
期間 平日 8:30～17:30

追加車両 普通車両 (乗客定員5人程度)

実証実験期間 平日 ワゴン車両2台 普通車両2台+1台
の運行車両 土曜日 ワゴン車両1台 普通車両2台
日曜日 ワゴン車両1台

利用の多い平日に普通車両を1台追加!

スケジュール 令和7年9月：議会にて補正予算を審議
令和7年11月頃：運行事業者等との契約(予定)
令和8年4月1日：実証実験開始 (予定)

③北本カレーフェスティバル2025 ～北本トマト栽培100周年記念～

北本でのトマト栽培は、大正14(1925)年に始まったとされており、今年で100周年を迎えました。これを記念し、北本トマトを使ったご当地グルメ「北本トマトカレー」をはじめとした北本の「食」の普及・拡大を通し、北本の魅力向上を図るため「北本カレーフェスティバル2025」を開催します。本市のみならず全国のご当地カレーや北本市と関係・交流のある自治体等の「食」を集めたイベントです。「きたもと縄文まつり」も同時開催予定です。

日時 令和7年11月15日(土)10:00～15:00
同時開催 きたもと縄文まつり2025
会場 サンアメニティ北本キャンプフィールド

駐車場&アクセス 高尾さくら公園及び水辺プラザ公園駐車場
利用可能。北本駅と会場を結ぶシャトルバス運行予定。

出店内容 ・北本トマトカレー提供店舗 5店舗
・全国のご当地カレー 5店舗
・キッチンカー5台(予定)



④きたもと縄文まつり2025を開催します

北本市は令和6年10月11日に国指定史跡となった「デーノタメ遺跡」をはじめ、数多くの縄文時代の遺跡が足元に眠っている「縄文のまち」です。市内外の方に、楽しみながら縄文文化、そして「縄文のまち」北本に親しんでいただけるよう「きたもと縄文まつり2025」を開催します!

日時 令和7年11月15日(土)10:00～15:00
同時開催 北本カレーフェスティバル2025
会場 サンアメニティ北本キャンプフィールド

駐車場&アクセス 高尾さくら公園及び水辺プラザ公園駐車場
利用可能。北本駅と会場を結ぶシャトルバス運行予定。

出店内容 弓矢・くるみ割り・土器づくり・火起こし
・縄文アクセサリづくり体験など、縄文文化を体感できる企画を用意しています。ステージではオカリナ演奏や縄文太鼓等、縄文文化をイメージしたコンサートを開催するほか、土偶女子・譽田亜紀子さんによるトークショー等も開催します。



イベント詳細

担当者コメント

この2大イベントは、北本市の魅力を生内外の皆様にご提供いただく貴重な機会だと考えています。北本トマトカレーは数々の大会での優勝歴を誇る自信作です。また、サンアメニティ北本キャンプフィールドで開催することで、火起こし体験や土器焼きなどの縄文文化体験も行えるようになりました。「縄文のまち」「トマトカレーのまち」北本ならではの体験をぜひお楽しみください!